

赤十字を“知る” ことから始めませんか。

赤十字の活動資金をわたしたち (県民)が負担しているのはなぜ？

ジュネーブ条約(赤十字条約)にもとづく赤十字の活動は、いついかなるときも中立の立場で行われなければなりません。そのためには財政的、機構的な独立性と自主性を保つことが重要です。このことから、日本赤十字社は政府の補助金などに頼らず、一般の方々や法人から寄せられる活動資金により運営するよう日本赤十字社法で定められており、青森県支部の活動資金は青森県民にご支援いただいております。

なぜ？どうして？赤十字

予め納付書(領収書)に金額が印字 されているのはどうして？

日本赤十字社は、日本赤十字社法により「社員をもって組織する」と定められています。社員とは赤十字活動を支える言わば会員であり、社員(会員)が納付する500円以上のご支援については定款により社費(年会費)として取扱いさせていただいております。このことから納付書(領収書)には、その方が前年ご支援された金額を、“今年も引き続きご支援いただきたい社費(年会費)の金額”として予め印字させていただいております。

わたしたちが負担した赤十字活動 資金はどのように使われているの？

赤十字の活動は、災害救護や国際救援のほか、病院の経営や献血、ボランティアの育成など多岐にわたります。しかし、その使命はひとつ。《人間のいのちと健康、そして生きる尊厳を守る》ことです。みなさまにご支援いただいた活動資金は赤十字の使命達成のための活動に充てられます。(活動内容については裏面をご覧ください。)

 **日本赤十字社 青森県支部**
Japanese Red Cross Society

赤十字活動資金(社費・寄付金)募集、活動などについて知りたい方は

ホームページで



日本赤十字社
青森県支部 検索
www.aomori.jrc.or.jp

お電話で



○日本赤十字社青森県支部
017-722-2011 組織振興課まで
○もよりの市役所、町村役場 日赤担当窓口まで
(弘前市、板柳町、西目屋村は社会福祉協議会)

担当者と直接



○日本赤十字社青森県支部
青森市長島1丁目3番1号日赤ビル(青い森公園隣)
組織振興課まで
○もよりの市役所、町村役場 日赤担当窓口まで
(弘前市、板柳町、西目屋村は社会福祉協議会)

あなたと赤十字の活動はつながっています。

平成26年度の歳入決算額は229,023,818円。内、みなさまから寄せられた活動資金(社費・寄付金)の歳入決算額はおよそ8割の190,145,825円です。ご協力、誠にありがとうございました。

災害に苦しむ人たちのために

被災された人たちの生活支援や被災地の復興支援のほか、新たな災害の発生に備えて災害救護体制を強化しています。

青森県内の活動

災害発生時に速やかに被災者の健康といのちが守れるよう、医療救護班DMATチームの育成のほか、県内各地域の自主防災組織などを対象に防災セミナーを実施するなど、県民の防災意識の普及に努めています。

平成26年度は、県内で発生した火災や風水害に対して毛布などの救援物資を354件



交付しました。

この活動の平成26年度歳出決算額 **17,303,736円**

地域に暮らす人たちのために

赤十字奉仕団や青少年赤十字などのボランティアを組織し、地域福祉の充実に努めています。

青森県内の活動

地域奉仕団は、全市町村に組織され、約1万1千500人の団員が地域でボランティア

活動を行っています。また特別な能力を活かした特殊奉仕団や青年奉仕団があります。

青少年赤十字は、482の幼児施設から高等学校までが加盟し、地域の清掃活動やいのちと健康を守る講習会の普及などを行っています。

いざ災害が発生すると、これらの赤十字ボランティアは炊き出しや義援金の募金活動などを行い、被災者を支援します。



この活動の平成26年度歳出決算額 **28,309,511円**

世界の人たちのために

189カ国の赤十字社が連携し、人種・宗教・政治にとらわれず紛争や災害などに苦しむ人々を支援しています。

青森県内の活動

ミャンマー、カンボジア、東ティモールの救急普及支援のため、平成26年度、カンボジアに支部職員1名とミャンマーに支部ボランティア救急法指導員1名を派遣しました。

この活動の平成26年度歳出決算額 **1,360,144円**

病気や身体の不自由な人たちのために

赤十字病院や血液センター、社会福祉施設を運営し、地域の医療・福祉の向上に努めています。

青森県内の活動

八戸赤十字病院は、緊急・重篤な状態にある患者に対して高度で専門的な医療を提供する急性期病院です。また災害発生時には、医療支援を行います。

八戸市のはまなす医療療育センターは、からだの不自由なひとたちが自立した社会生活をおくれるよう支援しています。

青森市、弘前市、八戸市に献血ルームをもつ赤十字血液センターは、病気などの治療に必要な輸血用血液や血液製剤を医療機関に提供しています。

この活動の平成26年度歳出決算額 **13,166,366円**

いのちに危険が迫った人たちのために

心筋梗塞で突然倒れた！、のどに異物を詰まらせた！家族に災難がふりかかったときの対処法のほか、防災のための知識やAED(自動対外式除細動器)の使用法などの講習会を行っています。

青森県内の活動

赤十字職員やボランティアによる指導員が、応急手当やAEDの使用法のほか、水の事故やこどもの病気・事故、高齢者支援などの講習会を行い、平成26年度は、11,935人が受講しました。



この活動の平成26年度歳出決算額 **9,287,526円**

その他、青森県支部の平成26年度の歳出決算額

- 県内各市町村が行う赤十字活動の推進のために… 18,232,399円
- 赤十字社員の募集・広報のために… 32,216,830円
- 日赤本社が行う活動推進のために… 27,876,873円

- 支部の運営と管理のために… 64,575,295円
- 翌年度の活動のために… 16,695,138円

歳出決算総額 **229,023,818円**

赤十字の活動は、みなさまから寄せられる赤十字活動資金(社費・寄付金)によって支えられています。

平成28年度の赤十字活動資金(社費・寄付金)と新規加入社員を募集中です。

平成28年度も県民のみなさまのいのちと健康を守る活動に努めて参ります。赤十字社員のみなさまは引き続き赤十字活動資金(社費・寄付金)のご協力と、未加入の方は赤十字社員にご加入くださるようよろしくお願いいたします。

なお、赤十字活動資金(社費・寄付金)は、各市町村の自治会役員、民生委員、行政連絡員、赤十字奉仕団員などの奉仕者がみなさまのご自宅を訪問させていただくなどして募集しておりますことをご理解願います。

■赤十字社員とは

日本赤十字社法にもとづき、赤十字活動を支える言わば“会員”であり、赤十字社員(会員)が納付する500円以上のご支援については定款により社費(年会費)とさせていただきます。なお、年額500円未満のご支援は寄付金となります。

■セト製門標(九谷焼)などの特典があります

年額2千円以上を納付し、累計額が2万円に達した赤十字社員には、特別社員の称号を与え、特別社員バッジや九谷焼のセト製門標を差し上げるなどの特典があります。

■所得税が優遇されます

年額2千円を超える赤十字活動資金(社費・寄付金)のご支援には、所得税の優遇措置があります。